

韓国

マクロ経済動向

韓国銀行（中央銀行）が10月25日に公表した2016年第3四半期の経済成長率（速報値）は、季節調整値で前期比0.7%（年率換算2.8%）で、前期の同0.8%を下回った。需要項目別に見ると内需では、最終消費支出は同0.7%で前期の同0.8%を下回った。固定資本形成は同2.1%で前期の同2.7%から低下した。その内訳では建設投資は同3.9%で前期の同3.1%から上昇した。一方、設備投資は同▲0.1%で前期の同2.8%からマイナスに転じている。外需である財・サービスの輸出は同0.8%で前期の同1.1%から低下した。

2016年第3四半期の鉱工業生産指数は季節調整値で、前期比0.6%となり、前期の同1.1%から低下した。月次では8月に前月比1.7%、9月に同▲2.2%となっている。

2016年第3四半期の失業率は季節調整値で3.8%であった。月次では8月に3.8%、9月は4.0%となっている。

2016年第3四半期の貿易収支は（IMF方式）286億ドルの黒字、月次では、8月は71億ドル、9月は108億ドルの黒字である。

2016年第3四半期の対ドル為替レートは1ドル＝1,120ウォンで、前期の同1,163ウォンから増価した。月次では8月に同1,111ウォン、9月に同1,107ウォン、10月に同1,128ウォンと推移している。

2016年第3四半期の消費者物価上昇率は前年同期比0.8%であった。月次では8月に前年同月比0.4%、9月に同1.2%、10月に同1.3%と推移している。また、2016年第3四半期の生産者物価上昇率は前年同期比▲1.8%であった。月次では8月に前年同月比▲1.8%、9月に同▲1.1%とマイナスで推移している。

経済見通し

10月13日、韓国銀行は2016年と2017年の経済見通しの改定版を発表した。これによると2016年の経済成長率は2.7%で2015年実績の2.6%を上回る。期間別の成長率では前半（実績）は前年度期比3.0%で、後半は同2.5%と減速する。一方、2017年の成長率は2.8%で、前半の前年同期比2.5%から後半は同3.0%に上昇すると見込んでいる。

需要項目別では、内需の民間消費が2015年実績の2.2%から、2016年に2.4%、2017年に2.2%と推移すると予測している。設備投資は2015年実績の5.3%から、2016年には▲3.9%とマイナスに転じ、2017年には2.3%に回復すると見込んでいる。建設投資は2015年実績の3.9%から、2016年には10.5%と上昇し、2017年には4.1%と見込んでいる。外需の財輸出は2015年実績の0.5%から、2016年には1.0%と上昇し、2017年には2.6%に回復すると見込んでいる。

消費者物価上昇率は2015年実績の0.7%から、2016年には1.1%に上昇し、2017年には2.5%と見込んでいる。

成長の減速によって雇用情勢の悪化が予測され、新規就業者数は2015年実績の34万人から、2016年には29万人に低下し、リーマンショックの影響を受けた2009年以降、最低となる見込みである。2017年も30万人にとどまる見通しである。

政局の動向と首相指名

友人に対する機密情報の提供などで窮地に立たされている朴槿恵（パク・クネ）大統領は、11月2日、事態の收拾のためリベラル派であった盧武鉉（ノ・ムヒョン）政権で副首相などをつとめた金秉準（キム・ビョンジュン）氏を首相に指名した。しかし、野党はこれを一方的措置として反発を強めている。世論調査の大統領への支持率も5%と記録的な低水準となっており、政権の維持について見通しの立たない状況に陥っている。

（ERINA 調査研究部主任研究員 中島朋義）

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2015年 10-12月	2016年 1-3月	4-6月	7-9月	2016年 8月	9月	10月
実質国内総生産(%)	3.7	2.3	3.0	3.3	2.6	0.7	0.5	0.8	0.7	-	-	-
最終消費支出(%)	2.3	2.2	2.2	2.0	2.4	1.3	0.1	0.8	0.7	-	-	-
固定資本形成(%)	▲1.0	▲0.5	4.2	3.1	3.8	▲0.9	1.2	2.7	2.1	-	-	-
鉱工業生産指数(%)	6.0	1.3	0.7	0.2	▲0.6	▲0.9	0.1	1.1	0.6	1.7	▲2.2	-
失業率(%)	3.4	3.2	3.1	3.5	3.6	3.4	3.8	3.7	3.8	3.8	4.0	-
貿易収支(百万USドル)	29,090	49,406	82,781	88,885	120,290	31,756	27,884	33,006	28,588	7,053	10,757	-
輸出(百万USドル)	587,100	603,509	618,157	613,021	548,838	136,777	118,002	127,882	127,878	41,394	44,008	-
輸入(百万USドル)	558,010	554,103	535,376	524,135	428,548	105,021	90,117	94,876	99,290	34,341	33,251	-
為替レート(ウォン/USドル)	1,108	1,127	1,095	1,053	1,132	1,157	1,201	1,163	1,120	1,111	1,107	1,128
生産者物価(%)	6.7	0.7	▲1.6	▲0.5	▲4.0	▲4.4	▲3.3	▲2.9	▲1.8	▲1.8	▲1.1	-
消費者物価(%)	4.0	2.2	1.3	1.3	0.7	1.1	1.0	0.9	0.8	0.4	1.2	1.3
株価指数(1980.1.4:100)	1,826	1,997	2,011	1,916	1,961	1,961	1,996	1,970	2,044	2,035	2,044	2,008

(注) 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価、消費者物価は2010年基準
貿易収支、輸出入はIMF方式、輸出入はfob価格
(出所) 韓国銀行、統計庁他